

report Leadership for Resilient Communities

place City Hall

date 21, Aug, 2013 (Wed) 9:00~12:00

【City Hall】

ポートランド市役所は、重厚な落ち着きを漂わせる建造物である。玄関前脇には市花の薔薇が咲き誇り、よい香りを漂わせ、町並みに溶け込み、景観の一部となっている。

【City Council】

議会議事堂は市役所庁舎の中にある。気軽に入れる所ではない、という先入観があったが、ポートランドでは事情が違う。誰でも入れる。議事堂は1階部分がコミッショナーや事務局の席と傍聴席、2階が傍聴席のみとなっている。

正面に、市長と4人のコミッショナー(5 elected officials)の席があり、その上にポートランドの過去から現在に至る風景画が掲げられている。コミッショナー席と向かい合わせで証言席。証言席の右側が市の弁護士、左側が議会事務局、後ろが傍聴席、という構成になっている。

コミッショナー席の真ん中が市長席。市長とコミッショナーは同等の権限を有しているが、市長は他のコミッショナーが担任する部局を決定する権限と、予算を担当する権限を持つ。また、採決に当たっては、最後に投票する。

条例が採決されると、条例が連邦法等に反しないかを弁護士が確認し、適法であることが確認されると、議会事務局が全ての市民がアクセスできるよう、あらゆる方法で告示する。市民であってもなくても、誰でも議会で証言することができ、関心の高い議案の時は、議事堂に入りきれない程の人が、証言するために議会に来るのだという。

毎週水曜日の朝に議会が開催されているが、当日は夏休みで休会。秘書課のジュディさんのファシリテーションで、模擬議会を体験した。

【5 experts say …】

続けて、JALGOMA プログラム・コーチのダン氏の司会で、5名の専門家から、ポートランドの都市計画についてお話をうかがった。

都市計画に詳しい弁護士のロバート氏

都市計画とは、リスクとチャレンジの連続。資源の減少、災害の発生、人口の増減など、その全てがリスクとチャレンジであり、耐性(resilience)に適応して行く必要がある。責任と知識を共有し、正義を重んじること。それが都市の持続性につながっている。

都市計画及び持続可能性対策局のディレクターのスーザン氏

都市計画及び持続可能性対策局は、エネルギー、緑化、リサイクルなど、いくとかの部

局を統合してできた経緯がある。今までは、資源は、どこからか調達してくれば良いもの、という考え方で通用していたが、これからはその考え方は無理。政治的判断によって、資源や環境に関する問題を解決していく時期に来ている。

ONI のマネージャーのブライアン氏

大切なのは社会的な持続可能性であり、その方向性は市民参加にある。コミュニティ(マイノリティのコミュニティ、移民のコミュニティ、黒人のコミュニティなどを含む)に対して資源やツールを渡し、コラボレーション、組織化、参加の歓迎などにより、個人の文化的背景に合わせた参加を進める。私たちはピアであり、パートナーである。

ホーソン地区ネイバーフッド・アソシエーション連合代表のボブ氏

土地利用、交通(移動手段)、持続可能性が都市開発の鍵である。変化のペースは加速していて、人を集め、人に資源を与えることが、耐性ある都市をつくることである。

市民団体アーバングリーン代表のチップス氏

変化は大切である。多様なバックグラウンドを大切に、変化していかなければならない。市民主権とは、そういうことだ。

【sustainable, resilient, peer】

「耐性」について議論と質疑を行う。

現在、公立学校の生徒の半分はマイノリティである。これまでは白人がコミュニティのリーダーであったが、20年後はそうではなくなっている。低所得者や英語を話せない人も、コミュニティにはいるし、地域のネイバーフッド・アソシエーションに加入していない人もいる。そうした人も含めて「コミュニティ」である。

誰でも高齢になって、車を運転できなくなる時が来る。その時、どんな都市デザインが必要か。高齢者の知識や経験を、コミュニティに根ざした行動へ、つなげていくことも必要。

政策を作っただけではダメで、市民参加の全体としての体系をよく考えること。若者が参加しやすいことも大切。権力構造がどうなっているのか、よく意識して、量ではなく質を優先する。プライド、アイデンティティ、関係性ということが鍵である。

【moving on】

都市の resilience と adaption は、現状維持ではなく再構築を、変化と挑戦を続けることを、ピアとしての市民の参加を歓迎することを、継続することの態度から生まれる。ポートランドのリーダーたちは、みなエキスパートだが、多様性を重んじ、多様な人たちに資源や権限をいかにして配分するかを、市民のパートナーとして考えていた。

